

介護職員等処遇改善加算にかかる情報公開（見える化要件）

医療法人十全会は、以下の事業所において介護職員処遇改善加算Ⅰを取得しております。

【取得事業所】 介護老人保健施設ピカソ

〈サービス名〉 介護老人保健施設、（介護予防）短期入所療養介護、（介護予防）通所リハビリテーション

【取得事業所】 短期入所生活介護ピカソⅡ

〈サービス名〉（介護予防）短期入所生活介護

【取得事業所】 通所介護ピカソⅡ

〈サービス名〉（介護予防型）通所介護

区分	具体的内容	当法人としての取り組み
入職促進に向けた取組	◇事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築 ◇他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築（採用の実績でも可） ◇職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力度向上の取組の実施	◇法人内の事業所間で共同採用しており、職員のキャリアや希望にそって人事異動を行っている。法人内年間研修計画を作成し研修を行っている また外部研修にも参加している ◇資格や経験を条件とせず幅広い年齢層からの採用の仕組みを構築している ◇中学生や大学生の職業体験等の受入れや地域住民の買い物支援に協力している
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	◇働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するユニットリーダー研修、ファーストステップ研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等 ◇エルダー・メンター（仕事やメンタル面のサポート等をする担当者）制度等導入 ◇上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・	◇外部研修に参加する機会を確保し、資格取得費用の補助や勤務シフトの考慮を行う事で研修に参加しやすい環境を整えている ◇新人職員をマンツーマンで指導している 指導者が新人職員の知識や技能を伝達することによって相乗効果が得られ両者の知識、技能向上に繋がっている またメンタルヘルスチェックを行い高ストレス者には産業医への面談を推奨している ◇年に一度面談を行い個人目標達成について話し合いモチベー

	働き方等に関する定期的な相談の機会の確保	ション向上やキャリアアップに繋げるようにしている
両立支援・多様な働き方の推進	◇職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備 ◇有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消を行っている	◇職員の事情等に応じた多様な勤務形態に対応し希望に即して正規職員への転換にも応じている ◇職員数を増員し、有給休暇取得促進、業務配分の標準化を行っている
腰痛を含む心身の健康管理	◇業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実 ◇短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施 ◇介護職員の身体負担軽減のための介護技術の修得支援、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施	◇全職員を対象としたストレスチェックを年に一度行い、高ストレス者には産業医面談を促している ◇業務内で身体負担軽減等の研修、指導を行っている
生産性向上 (業務改善及び働く環境改善) のための取組	◇厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善活動の体制構築(委員会やプロジェクトチームの立ち上げ又は外部の研修会の活用等)を行っている	◇生産性向上委員会を発足し、月に1回課題を抽出し業務改善について協議している

	◇現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している ◇5S活動（業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備を行っている ◇業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている ◇介護ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの。）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入 ◇介護ロボット（見守り支援、移乗支援、移動支援、排泄支援、入浴支援、介護業務支援等）又はインカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資するICT機器（ビジネスチャットツール含む）の導入 ◇業務内容の明確化と役割分担を行い、介護職員がケアに集中できる環境を整備。特に、間接業務（食事等の準備や片付け、清掃、ベッドメイク、ゴミ捨て等）がある場合は、いわゆる介護助手等の活用や外注等で担うなど、役割の見直しやシフトの	◇毎日行っている ◇各業務のマニュアル整備、情報共有ノートの使用 ◇介護ソフト、タブレット端末を使用し情報共有、業務の生産性向上を図っている ◇特殊浴槽、見守りセンサー等の導入を行っている ◇人員配置を増員し業務の役割分担を行っている
--	--	--

	組み換え等を行う。	
やりがい・働きがいの醸成	◇ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化 による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善 ◇域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施 ◇ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	◇朝礼、安全対策会議、療養棟会議などでミーティングを実施し、勤務環境やケア内容の改善について話し合っている ◇保育園児や職場体験を通じて交流を図り、モチベーション向上に努めている ◇朝礼や書面にて情報を共有し、モチベーション向上に努めている